

# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	宮城県
再委託先	多賀城市

## 1 事業推進の体制

実践中心校	多賀城中学校
協力校	多賀城小学校, 多賀城東小学校, 山王小学校, 天真小学校, 城南小学校, 多賀城八幡小学校, 第二中学校, 東豊中学校, 高崎中学校
関係機関	多賀城市学校給食センター

## 2 具体的な取組等について

テーマ1	小中学校における食に関する指導の充実
評価指標	多賀城市立小・中学校の全学級における栄養教諭が関わった食に関する訪問授業
効果	授業時間における栄養教諭が関わった食に関する指導が増加し、児童生徒の食への関心が高まった。

### (取組状況)

- 1 授業時間及び給食時間を活用した食に関する指導の実施  
食育担当者会を通してはたらきかけ、今年度はなるべく給食時間よりも授業時間における食に関する指導が増加するように取り組んだ。

- 2 学級担任や教科担当と連携した食に関する指導の実施  
栄養教諭が学級担任や教科担当と綿密な打ち合わせを行ったうえで、小学校は学級活動を中心に、中学校は家庭科に加え保健体育の教科において、T・Tで食に関する指導を進めた。



中学校家庭科の授業

- 3 各学校の特性を生かした「食に関する指導」の推進と記録の蓄積  
各小・中学校において、給食に関する〇×クイズ、さつまいも栽培や調理、そば栽培とそば粉作り体験、給食週間でのキャラクター作り、ALTに日本の行事食を紹介しよう、農業体験、朝ごはん大賞などの取組を行った。



さつまいもご飯を作ろう



そば粉作り体験



農業体験



朝ごはん大賞

- 4 食育担当者会の設置と情報交換  
食育担当校長、各学校の食育担当者、栄養教諭、市教育委員会学校教育課で会を組織し、年5回実施し、各校における食育に関する実践の情報交換等を行った。

- 5 給食試食会への栄養教諭の参加  
給食試食会（PTA 行事）に参加し、保護者と児童に対して学校給食についての説明や朝食の大切さなどを伝えた。



友好都市(太宰府市)の献立

- 6 友好都市の献立実施（年2回実施）

[太宰府市献立]

ごはん、牛乳、さばのごま揚げ、がめ煮、ずいきのおつけ

[奈良市献立]

ごはん、牛乳、鯖の南部揚げ、奈良のっぺ煮、にゅうめん

7 地域の野菜生産者を活用した交流給食の実施 小学校6校・中学校1校



交流給食 生産者のお話と会食

**テーマ2** 望ましい食生活を考え、主体的に実践する力を持った児童生徒の育成

**評価指標** 予定献立表，食育だより，栄養教諭だよりの効果的な発行

**効果** 予定献立表，食育だより，栄養教諭だよりの効果的な発行によって，地場産品への理解が深まった。主体的に実践する力を育成するまでには至らなかった。

(取組状況)

- 1 予定献立表の検討・改善(右図)  
その日に使用する地場産品の表示(囲み)を見やすく変更した。また、その月に使用する地場産品一覧を大きく表示するように変更した。  
食育の日メニューを設定した。



6月予定献立表 8・9月予定献立表

予定献立表の検討・改善の一例  
(その日に使用する地場産品の表示変更)

- 2 給食レシピの掲載等による食育だよりの充実  
年間4号発行し各家庭へ配布した。また、地域回覧板を活用することによって，食に関する情報を地域に発信し，学校給食と家庭・地域の連携を図った。
- 3 栄養教諭だよりのあたらな発行による食育関連活動等の情報発信  
年間3号発行し，食に関するアンケートの調査結果や考察，市・学校における食育の取組紹介，栄養教諭の授業の様子，地域の野菜生産者の紹介等を掲載した。



栄養教諭だより(一部)

- 4 全国学校給食週間の活用  
「世界の味めぐり」と題し世界各国の料理を給食に取り入れ，外国の食文化にふれる機会とした。  
日時 平成26年1月27日(月)～31日(金)  
献立例 [スペイン料理]背割ソフトドックパン，牛乳，ソーセージのナヴァラ，マセドアンサラダ，ソバ・デ・アホ(にんにくとパン粉のスープ)



給食週間 スペイン料理

- 5 交流給食会の実施  
児童生徒の地場産品に対する意識を高めるために，全国学校給食週間に合わせ，地域の野菜生産者を招いての交流給食を実施した。



6 夏休み及び冬休み親子料理教室の実施

日時 平成25年7月31日、12月14日

会場 大代公民館

参加者 夏17名 冬20名

献立 [夏]具だくさん冷めん、オクラスープ、白玉フルーツポンチ

[冬]えびピラフ、チキンのハーブ焼き、冬野菜のスープ、クリスマスケーキ



夏休み親子料理教室



冬休み親子料理教室



7 市内全教職員に対する食に関する研修会（全教職員研修会）の実施

日時 平成25年7月24日（水） 13:20~16:00

会場 多賀城市民会館小ホール

講演 I 「米作りを通じた食育の授業の組み立て方」

II 「児童の意欲を引き出し、心を育む楽しい農業体験学習の実践」

パネルディスカッション 「食育を推進するために」

参加者 小学校146名 中学校233名 計376名



全教職員研修会

8 リーフレットの配布

栄養教諭や市内小中学校の食に関する取組、食に関するアンケート調査結果等をまとめたリーフレットを作成し、各家庭や関係機関へ配布した。

平成25年度 栄養教諭を中核とした食育推進事業

## 望ましい食習慣に改善し 一人ひとりが主体的に健康作りに取り組み力の育成

### 小中学校における食に関する指導の充実

「食に関する指導計画」の検討及び改善  
 ・栄養教諭による各校への訪問指導の効果的な位置づけ  
 ・給食センターの指導目標、献立等と各校計画との関連づけ  
 ・各校の特色ある「食に関する指導」の情報交換

### 各学校の特色を生かした「食に関する指導」の推進と記録の蓄積

・各教科・領域における食に関する指導  
 ・給食の時間や集会  
 ・近郊都市や外国の文化に触れる取組  
 ・家庭と連携して進める取組  
 ・地域の人材、素材を活用した体験的な取組 等

### 望ましい食生活を考え、主体的に実践する力をもった児童生徒の育成

食に関する実態の把握及び課題の分析と 学校教育への反映  
 望ましい食生活に関する学校・地域への 情報提供と相談機能の充実  
 家庭・地域とともに進める食に関する取組

平成26年3月 多賀城市

## 多賀城市の取組

本事業を実施するにあたり、学級科長、関係機関指導主事、PTA会長、栄養教諭などの方で構成する検討委員会や各学校の情報交換の場として食育担当者を組織しました。また、市内全教職員に対する食に関する研修会（全教職員研修会）を実施しました。

### 各学校の取組紹介

<b>多賀城小学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）	<b>天眞小学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）
<b>多賀城南小学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）	<b>城南小学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）
<b>山正小学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）	<b>多賀城八幡小学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）
<b>多賀城中学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）	<b>第二中学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）
<b>南中学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）	<b>南中学校</b> ・「わかめ」の活用（2年） ・「わかめ」の活用（3年） ・「わかめ」の活用（4年） ・「わかめ」の活用（5年） ・「わかめ」の活用（6年） ・「わかめ」の活用（7年） ・「わかめ」の活用（8年） ・「わかめ」の活用（9年） ・「わかめ」の活用（10年）

## テーマ1～2に共通する取組 食に関するアンケート調査の実施

**評価指標** 食に関するアンケート調査における望ましい姿の増加

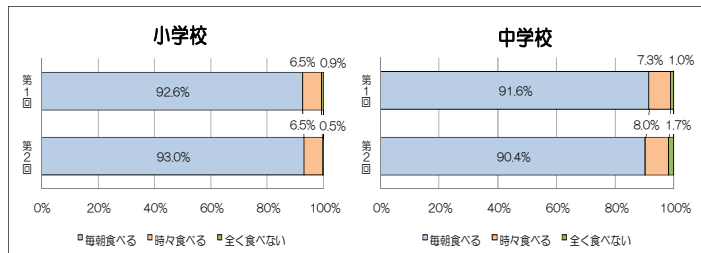
**効果** 望ましい姿の大幅な増加はみられなかった。

### (取組状況)

- 食に関するアンケート調査の実施（6月・11月）  
対象 小学4・5年生，中学1・2年生の児童・生徒

#### 【朝食を毎日食べていますか】

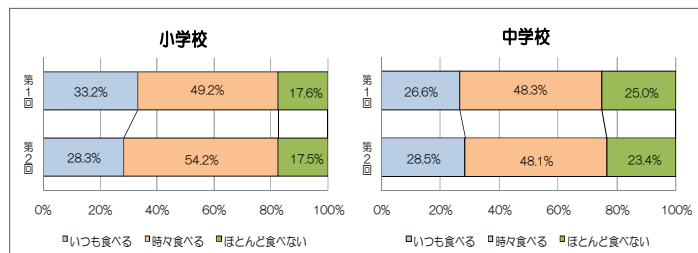
朝食を「毎日食べる」児童生徒は90～93%で、この数値に変化はみられなかった。また、この値は小・中学校において第二期多賀城市食育プランの目標値（小学校93%以上，中学校89%以上）を達成した。



朝食を毎日食べていますか

#### 【苦手な食べ物を食べていますか】

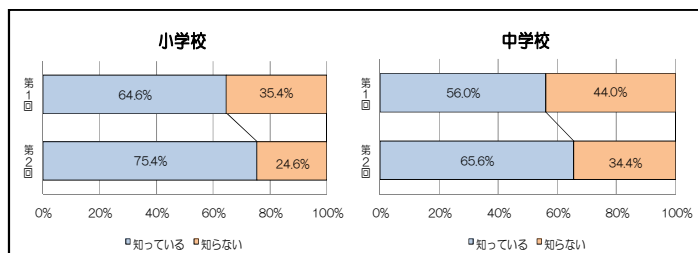
小学校は「いつも食べる」が減少し「時々食べる」が増加している。中学校では「いつも食べる」が増加している。



苦手な食べ物を食べていますか

【多賀城市で作られた食べ物が給食で使われていることを知っていますか】

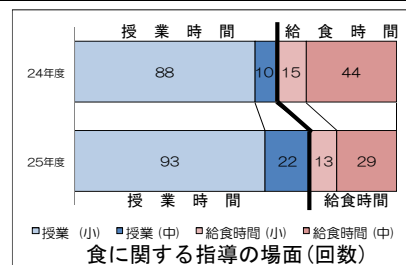
市産物の給食使用の理解の割合は、小中共に約10ポイント増加している。



多賀城市で作られた食べ物が給食で使われていることを知っていますか

### 3 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- 食育担当者会を行い教諭と栄養教諭の連携が深まったことによって、栄養教諭が関わる食に関する指導が授業時間において増加した。昨年度と比較すると特に中学校において大きな変化となった。(右表)
- 年度当初、学校間・学級間における食に関する指導への温度差や認識の差がみられたが、学級担任や教科担任と事前に打ち合わせを行い題材の共通意識を持つことによって、効果的な授業を行うことができた。
- 献立表の工夫、食に関する指導の充実、また地域の野菜生産者との交流給食の実施などにより、児童生徒の地場産物に対する興味が深まった。
- 夏休みと冬休みに実施した親子料理教室は、保護者・児童共に好評だった。家庭で食事の手伝いをするきっかけ作りになったり、子どもの野菜嫌いを克服する機会になったりと、食への関心が深まる様子が伺えた。



### 4 今後の課題（今回の事業により新たに目立った課題など）

- 学校との連携を今後も計画的・継続的に行う必要性を感じた。小学校においては学級活動や教科等の食に関する指導に関わっていききたい。中学校においては、関連教科へ積極的に関わっていききたい。
- 食に関する指導を実施したあと、児童生徒の変容などを担任教諭と栄養教諭が共有していく必要があると感じた。
- 食に関するアンケートで課題になった項目（家族との食事、野菜の摂取、食事のバランスなど）について今後も検討を重ね、食に関する指導やおたよりを活用し望ましい姿の増加を目指す必要がある。